



県内経済の動き

概況

〔9月～11月の動き〕

足踏み状態

鉱工業生産指数（9月）は前月比低下、前年同月比上昇。輸出額（10月 細島港）は11カ月連続で前年比減少した。百貨店・スーパー販売額（10月 全店ベース）は10カ月連続で前年を下回ったが、「軽」を含む乗用車の販売台数（11月）は29カ月ぶりに前年比増加に転じた。新設住宅着工戸数（10月）は前年比2カ月ぶりに増加。公共工事（10月 保証対象請負総額）は3カ月ぶりに前年を下回り、有効求人倍率（10月：1.28倍）は、前月比0.01ポイント上昇した。11月の企業倒産件数は49カ月連続1ケタ台で推移。

県内経済は、個人消費の一部にやや明るい兆しがみられるものの、企業の生産活動など一進一退で推移しており、全体としては足踏み状態にある。 (厚地)